

有限会社小村産業

■事業

最新型高周波フラッシュ接着機導入による 新事業展開

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

高周波フラッシュ接着機

高度な技術力と豊富な設備を誇る 建具・家具製造のプロフェッショナル

【社訓】

- 一、優れた技術とアイデアで社会に貢献する
- 二、研究心に燃え、常に努力する
- 三、誠実と責任をモットーとする
- 四、相互信頼のもとに組織を尊重し、行動する
- 五、会社の発展と繁栄により、従業員の生活向上を計る

既製品と違い、一つとして同じものはないオーダーメイドの木製家具や建具を作り続けている出雲市の小村産業。昭和28年の創業以来、建具製造のプロとして障子やふすま、框戸などの伝統的な建具から、収納棚やカウンター、フラッシュ戸など顧客のニーズに応じた多彩なアイテムを生み出してきた。木の性質や特徴を生かし、職人の高い技術力で仕上げられた建具や家具は、空間に温かい表情を生み出し、自然ならではの香りや質感で人々を優しく包み込む力を持っている。小村産業は出雲市内を中心に、一般住宅から保育園や学校、老人福祉設などにも数多く納めており、出雲大社の遷宮時には仮拝殿の建具も手掛けた。建築士や施工管理技士、建具や家具の一級技能士の資格を持つ職人が多い上、左右の刃物で裁断と溝加工を同時に行える「テナー」や、複数の穴あけ加工が可能な「NC角のみ機」など周辺同業社に少ない機械設備も多数備えており、その技術力には定評がある。

1分弱でパネル接着できる機械で 短納期、コスト削減を実現

近年増加しているのが、枠組みされた芯材にベニヤなどの合板を貼り合わせてパネルを作るフラッシュ工法の家具や建具。従来使っていたプレス圧着機では、ボンドが自然に乾くまで待つしかなかったため、接着工程に3、4時間もかかっていたのがネックだった。特に施設や学校、保育園などに納入する製品は製作数が多いため、繁忙期には外注依存や残業などを増やさざるを得ないことも。プレス後の反りや変形などで調整や再加工の必要が生じるケースもあり、ロスも少なくなかった。

そこで高周波加熱により短時間で接着、芯材の温度変化による製品の反りも最小限に抑えられる「高周波フラッシュ接着機」を導入。製品を



建具制作の作業風景



- 1 導入された高周波フラッシュ接着機の操作画面
- 2 高周波フラッシュ接着機を使用した、瞬時パネル接着
- 3 自社製のカウンターや棚など事務所内の備品



機械に入れてから乾くまでわずか1分足らずで仕上げられるようになった。反りが少なくロスも減ったため、製作コストも大幅に削減。短納期、品質向上が図られ、経営基盤の強化に結び付いた。

保育所や学校での木育にも一役 温もりある木の良さを伝えたい

最近の傾向として、天井につながるほどの高い建具の注文が増えたという。一般的に高い建具は反りやすいため、反りを最小限に抑えられる高周波フラッシュ接着機が活躍。さらに接着が済んだ部分から、製品が機械後方に押し出されていく仕組みのため、どんなに長いものでも製作できるようになった。営業課長の小村勇太さんは、「近年は木育の重要性がうたわれていることもあり、教育施設などでの木の使用が非常に増えているように感じます。丈夫でコストを抑えられるフラッシュ工法の家具や建具に加え、無垢材の良さも一層伝えていきたい」と話す。同社では、釘を使わずに木を組み合わせてゆく伝統的な組子細工の技も継承するなど、一人一人の職人の高度な技術力を誇る一方、CADを用いた作図や、充実した機械設備による正確かつスピーディーな仕事で顧客が求める短納期高品質に対応。「自社の強みを生かして、今後も一層お客様のニーズに応えていきたい」。

■Company Data

有限会社小村産業



小村産業

代表者名：小村 良次
設立年月日：昭和28年11月2日
資本金：15,000千円
従業員数：14人
主たる業種：木製建具・家具製造業
本社：〒693-0005 出雲市天神町196
電話：0853-22-6500
FAX：0853-23-3615